

原発事故、国内の経験総動員を... 専門家らが提言 4/4 読売新聞

福島第一原子力発電所の事故を受け、日本の原子力研究を担ってきた専門家が1日、「状況はかなり深刻で、広範な放射能汚染の可能性を排除できない。国内の知識・経験を総動員する必要がある」として、原子力災害対策特別措置法に基づいて、国と自治体、産業界、研究機関が一体となって緊急事態に対処することを求める提言を発表した。

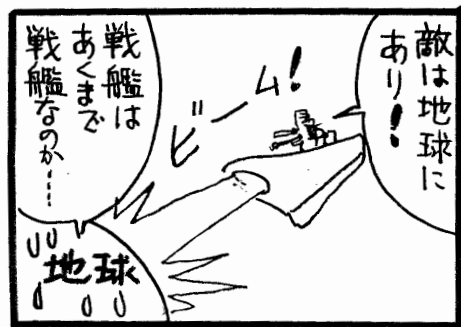
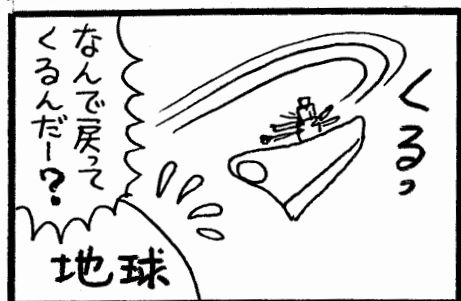
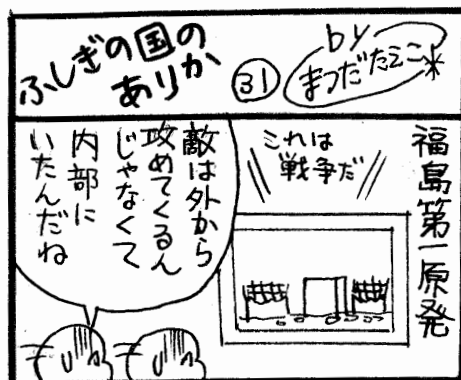
田中俊一・元日本原子力学会会長をはじめ、松浦祥次郎・元原子力安全委員長、石野栞・東京大名誉教授ら16人。

同原発1～3号機について田中氏は「燃料の一部が溶けて、原子炉圧力容器下部にたまっている。現在の応急的な冷却では、圧力容器の壁を熱で溶かし、突き破ってしまう」と警告。また、3基の原子炉内に残る燃料は、チェルノブイリ原発事故をはるかに上回る放射能があり、それをすべて封じ込める必要があると指摘した。

一方、松浦氏は「原子力工学を最初に専攻した世代として、利益が大きいのと思って、原子力利用を推進してきた。(今回のような事故について)考えを突き詰め、問題解決の方法を考えなかった」と陳謝した。

- | | |
|-------|--|
| 青木 芳朗 | 元原子力安全委員 |
| 石野 栞 | 東京大学名誉教授 |
| 木村 逸郎 | 京都大学名誉教授 |
| 齋藤 伸三 | 元原子力委員長代理、
元日本原子力学会会長 |
| 佐藤 一男 | 元原子力安全委員長 |
| 柴田 徳思 | 学術会議連携会員、基礎医学委員会
総合工学委員会合同放射線の利用に
伴う課題検討分科会委員長 |
| 住田 健二 | 元原子力安全委員会委員長代理
元日本原子力学会会長 |
| 関本 博 | 東京工業大学名誉教授 |
| 田中 俊一 | 前原子力委員会委員長代理
元日本原子力学会会長 |
| 長瀧 重信 | 元放射線影響研究所理事長 |
| 永宮 正治 | 学術会議会員、日本物理学会会長 |
| 成合 英樹 | 元日本原子力学会会長
前原子力安全基盤機構理事長 |
| 広瀬 崇子 | 前原子力委員、学術会議会員 |
| 松浦祥次郎 | 元原子力安全委員長 |
| 松原 純子 | 元原子力安全委員会委員長代理 |
| 諸葛 宗男 | 東京大学公共政策大学院特任教授 |
- 名簿はPeace Philosophy CentreHPより

末法濁世かわらばん(平川宗信さん)よりいただく様々なインターネット上の情報に接し、日本の報道が極端に報道規制されていることに気付かざるを得ません。原発推進して来た人たちの緊急建言と謝罪は、大きく取り上げられてしかるべきものだと考えられますが上記の記事以外全く報道されなかったようです。なぜなのでしょう。情報が公開されないことで、人々は身を守れず、逆に増大した不安は抑え込まれ、放射能と同じく晩発制に影響を与えるのではないかと危惧します。



2011.3.25.11:30PM*